



堀正文(ヴァイオリン)



小林沙羅(フルート)



HIMARI(ヴァイオリン)



ヴィタリ・ユシマノフ(ピアノ)



工藤和真(フルート)



中井美穂
(司会)



横山幸雄(ピアノ)



長谷川弥生(ヴァイオリン)



吉田恭子(ヴァイオリン)



海野幹雄(チェロ)

2022

クラシック・キャラバン

岡山公演

クラシック音楽が世界をつなぐ～輝く未来に向けて～

『煌めくガラ・コンサート』

豪華ソリストによる音楽の玉手箱

クラシック・キャラバンとは

コロナ禍を乗り越えるため(一社)日本クラシック音楽事業協会が企画した公演プロジェクトです。
昨年に引き続き、今年は全国13か所21公演が開催されます。

ショパン: 幻想即興曲 横山幸雄

プッチーニ: 私のお父さん 小林沙羅/横山幸雄

モーツァルト: お手をどうぞ 小林沙羅/ヴィタリ・ユシマノフ/横山幸雄

プッチーニ: 誰も寝てはならぬ 工藤和真/横山幸雄

ヴェルディ: 我らの胸に友情を 工藤和真/ヴィタリ・ユシマノフ/横山幸雄

ウイニアフスキ: ヴァイオリン協奏曲第1番1楽章 HIMARI/横山幸雄

ブラームス: ピアノ五重奏曲 へ短調 Op.34

第一ヴァイオリン 堀正文/第二ヴァイオリン 吉田恭子

ヴィオラ 長谷川弥生/チェロ 海野幹雄

ピアノ 横山幸雄

中井美穂(司会)

※未就学児の入場はご遠慮いただいております。

※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

※平熱と比べて高い熱が確認された際には入場をお断りさせていただきます。

※マスクを着用されていない方はご入場いただけません。※その他、感染予防対策等の詳細は、ホームページをご覧ください。

2022年12月22日(木)

18:30 開演(17:45開場)

倉敷市芸文館

一般発売
8/1月
10:00~

【チケット】 S席5,000円 | A席4,000円(税込・全席指定)

【前売り券販売所】

ローソンチケット(Lコード:61706)

岡山シンフォニーホールチケットセンター 086-234-2010

(10:00~18:30毎月第2、第4火曜日休館)

倉敷市芸文館 086-434-0400 (平日9:00~17:00水曜日休館)



公演WEBサイトはこちら

<https://www.classic-caravan.com/>

主催: 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会
KTレーディング(株)/山陽新聞社

文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)



CLASSIC





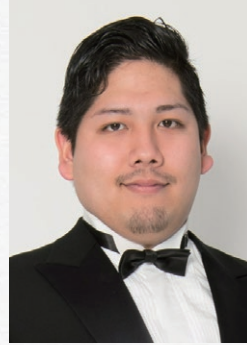
前半は日本を代表する演奏家によるガラ・コンサート。美しい曲の数々が玉手箱から溢れ出てきます。後半はブラームスのピアノ五重奏曲をしっかりと味わって頂きます。一言で表すとブラームスの世界そのもの…甘くそして深い底知れぬ天才ぶりがあちこちで溢れる一方で若く燃えたぎる野心を感じられる作品です。じっくり浸っていただければと思います。



©Hitoshi Iwakiri

小林沙羅(ソプラノ)
Sara Kobayashi, Soprano

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。11年度文化庁新進芸術家在外研修員。12年2月にソフィア国立歌劇場にて『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ役で欧州デビュー、『愛の妙薬』アディーナ役、『トゥーランドット』リユー役(井上道義指揮)、『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル役(下野竜也指揮)、千住明・松本隆による新作『隅田川』『源氏物語』(大友直人指揮)の他、ソリストとしてオーケストラとも共演多数。日本声楽アカデミー会員。



工藤和真(テノール)
Kazuma Kudo, Tenor

東京藝術大学卒業。同大学院修了。声楽を小原一穂、佐々木朋也、市原多朗、エリザベト・ノルベルグ=シュルツの各氏に師事。第84回日本音楽コンクール声楽部門第2位。第53回日伊声楽コンクール第1位及び歌曲賞を受賞。第1回かわさき新人声楽コンクール第1位。第17回東京音楽コンクール声楽部門第2位(1位なし)、聴衆賞受賞。



ヴィタリ・ユシュマノフ(バリトン)
Vitaly Yushmanov, Baritone

日本トスティコンクール第1位、日伊声楽コンクール第1位ほか受賞歴多数。2015年春より日本に拠点を移す。2019年に「ドン・ジョヴァンニ」をタイトル・ロール、2020年秋「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵役、2021年4月新国立劇場「夜鳴きうぐいす」「イオランタ」に出演するなど多数のオペラに出演。オーケストラとの共演も多い。



©Hitoshi Iwakiri

HIMARI(ヴァイオリン)
Himari, Violin

2011年生まれ、10歳。2021年9月17日、第15回リビンスキ・ヴィニャフスキー国際ヴァイオリンコンクール17歳までのジュニア部門でグランプリ受賞(ポーランド)他、これまでに国内外42のコンクールで全て1位。これまでに国内外のオーケストラと共演。原田幸一郎、小栗まち絵、ザハール・ブロン各氏に師事。慶應義塾幼稚舎5年生。



©青柳聡

堀正文(ヴァイオリン)
Masafumi Hori, Violin

フライブルク音楽大学卒業。1974年よりダラムシュタット国立管第1コンサートマスター就任。ヨーロッパ各国でオーケストラ、ソロ、室内楽などに幅広く活躍した。1979年N響コンサートマスター就任。日本クラシック界を代表するヴァイオリニストとして精力的な活動を繰り返している。有馬賞受賞。ジュネーブ国際、レオポルト・モーツァルト国際、シュポア国際コンクール審査員。桐朋学園大学特任教授、東京藝術大学招聘教授。



©Hitoshi Iwakiri

吉田恭子(ヴァイオリン)
Kyoko Yoshida, Violin

桐朋学園女子高等学校・大学卒業後、英国ギルドホール音楽院、米国マンハッタン音楽院へ留学。巨匠アロン・ロザンドに師事。2001年にCDデビュー、これまで8枚のソロアルバムをリリース。社会貢献を目的とした「ふれあいコンサート」の公演数は19年間で500回を数え、音楽の持つ豊かさを全国各地に届けている。今年で11年目になる「若い芽のアンサンブルin軽井沢(YEK)」を開催、実行委員長を務める。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。



©千葉広子

長谷川弥生(ヴィオラ)
Yayoi Hasegawa, Viola

桐朋学園女子高等学校・大学卒業。キジアーナ音楽院のセミナーではユーリ・バシュメットのマイスタークラスでディプロマ特別賞を、R・ブレンゴラの室内楽クラスでディプロマ名誉賞を得る。一方、文化庁の第1回インターンシップ研修生に選ばれる。1994年、財団法人ソニー音楽芸術振興会の主催により津田ホールでソリストとして本格的なデビューリサイタルを果す。現在、室内楽・ソロ活動のほか、ロイヤル・チェンバー・オーケストラなどで幅広く活躍している。



海野幹雄(チェロ)
Mikio Unno, Cello

バロック、古典派、ロマン派、現代音楽と幅広いレパートリーを持ち、多くのソロ・リサイタルや室内楽活動のほか、全国の主要オーケストラへ定期的に首席チェロ奏者として客演。室内オーケストラARCUS、ピアノトリオ海(Meer)、作曲家・新垣隆氏とのデュオ・オリゴ等、数多くのグループに所属。NPO法人「ハマのJACK」理事。東邦音楽大学講師。



©アールアンフィ

横山幸雄(ピアノ)
Yukio Yokoyama, Piano

第12回ショパン国際ピアノコンクールにて歴代の日本人として最年少入賞を果たし、文化庁芸術選奨文部新人賞など数多の賞を受賞。ポーランド政府より「ショパン・パスポート」を授与。継続的に開催される自身による意欲的な企画は常に注目をあび、高く評価される。名古屋芸術大学特別客員教授、エリザベト音楽大学、京都市立芸術大学、山梨大学、各客員教授。日本パデレフスキ協会会長。



中井美穂(司会)
Miho Nakai, MC

日本大学芸術学部卒業。フジテレビに入社。アナウンサーとして活躍し、1995年退社後「世界陸上」のメインキャスターを務める他、「タカラヅカ・カフェブレイク」「つながるニッポン!応援のチカラ」などにレギュラー出演。その他、映画、演劇コラム、イベントの司会など幅広く活躍している。がん啓発のイベント・市民公開講座の司会などの活動もしている。2013年より読売演劇大賞の選考委員、現在新国立劇場の理事も務めている。